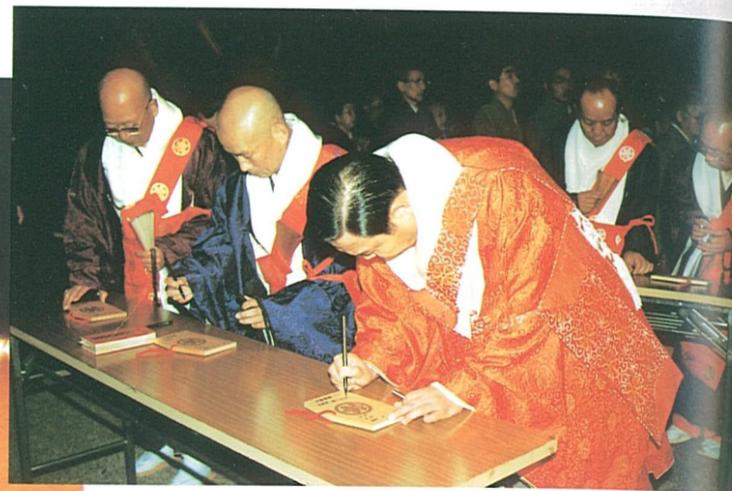


# 開教八十周年



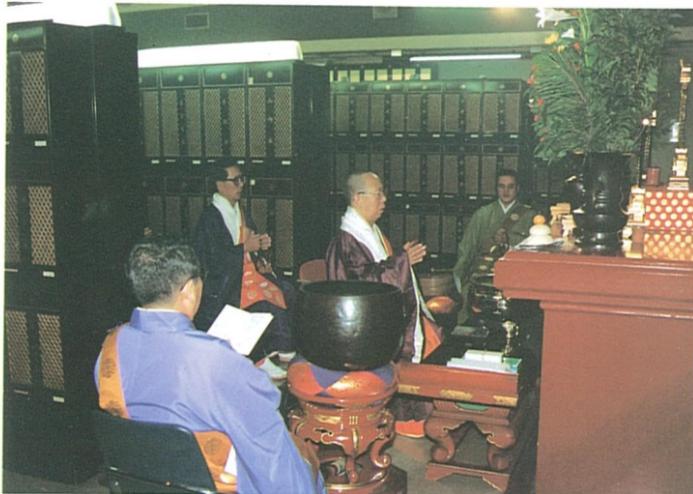
元旦会での読経



絵馬を奉納する

▲教祖殿

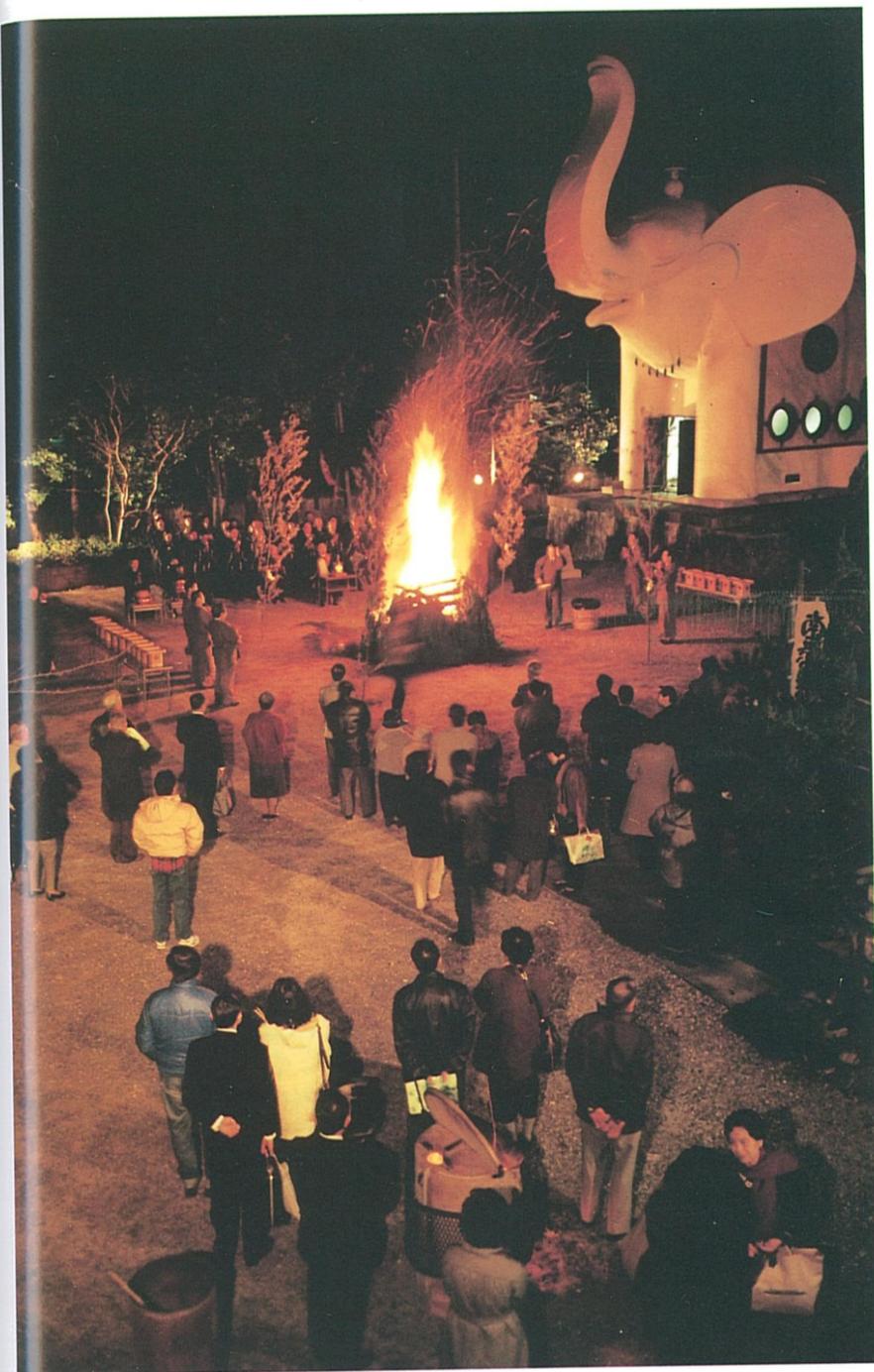
▼納骨堂



管長 猊下 新年の御挨拶

平成五年の行事

元旦会



燃えあがる大護摩供養の炎

大護摩供養



初鐘

新しき年に向って

# 合同総会

(3月21日)

教祖殿ステージにて熱演する岡田 修氏(合同総会、午後の部)



感謝状が手渡される



# 前管長 杉崎法山猯下 十七回忌 <1月10日>



# 降誕会

(4月8日)



▲開教八十周年と降誕会を記念して  
インド菩提樹を仏利塔前に植樹される



# 節分会

(1月31日)

# 涅槃会 (2月15日)



# 春季彼岸会

(3月21日)



▲花まつりにお参りをされる 大乘幼稚園児  
彼岸会の読経(納骨堂にて)



行列出発の梵鐘を待つ

# 開教八十周年 春季大祭

五日九日

大正三年秋、教祖杉山辰子先生が「仏教感化救済会」という名称のもとに、法華経実践の布教を始められて本年で八十年となる。

は一階二階とも満席で、八十年の記念行事に集う人々は厳粛に営まれる読経の中に、教団の歴史の重さを味わった。神通掛念珠授与があり、大勢の信徒に手渡された。

教祖さまのご遺徳を偲び、教団揚げの記念祝典が催された。午前十時より教祖殿に於いて式典が始まった。献灯および献菓・献茶が行われ、御詠歌が奉詠された。続いて読経が始まり、併せて初代管長小坂井啓陽猊下の三七回忌の法要が営まれた。場内

管長杉崎法涌猊下の御挨拶に満場の参拝者は、教祖さまのご精神を学び、広宣流布の使命を深く心に誓ったのであります。

読経される御信徒



▶献花(森副管長先生)

▼管長先生による挨拶

## 開教80周年記念 春季大祭



献菓献茶の儀(青年部女子部員)



御詠歌奉詠(婦人部御詠歌隊)



御抜い(管長猊下)



涅槃堂建設予定地に向かう行列



雨の心配もあったが、朝から天気は良く、本堂前の広場に櫓が組まれて、紅白の幔幕が張り巡らされ、十二時十分宣教師や教会代表者にて餅投げが行われた。紅白の餅は、全国の教会より奉納された。二千人の群衆の混乱をさけて二回に分けて威勢よく餅がまかれた。

## 祝賀餅投げ

ビルマ国王より大正天皇に贈られた涅槃像が、仏舍利塔地下に安置されていたが、本堂西にいよいよ涅槃堂建立の運びとなり、午前十一時三十分より地鎮式が営まれた。

来賓の末広工業代表者及び設計者天野光三氏にて、それぞれ鎌入れ・鋤入れが行われ、管長猊下の鍬入れの儀式が執り行われた。

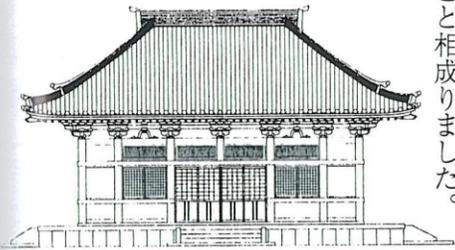
涅槃堂建立 趣意

本教団の涅槃像は、約三百年前インドで製作され、ビルマ国王より大正天皇に贈られた由緒あるもので、身長五・六メートル、世界三体の一体で重要文化財として貴重なものであります。

## 涅槃堂建立地鎮式

昭和五十三年六月より仏舍利塔内の一部に安置されてきましたが、このたびいよいよ正式にこれを奉祀する涅槃堂を建立することと相成りました。

涅槃堂は本堂裏北側の敷地に、正面九、二四メートル、側面七、二六メートル、高さ九、八メートルの総檜造りをもって建立されます。



涅槃堂(南立面図)



# 婦人部 第一部研修会

7月3・4日



第一部研修会

記念写真〈玄関にて〉



早朝の龍王殿参拝



▲管長猥下による鋤入れの儀

鋤入れ(末広工業代表者)

# 婦人部 第二部研修会

7月10・11日



第二部研修会

記念写真〈玄関にて〉



管長猥下の法話を熱心に聞く

# はぐるま太鼓 演奏



熱演するジャパニーズ・パーカッショングループ



福井県武生市「はぐるまの家」の青年による太鼓演奏が披露された。開教八十周年を祝い、主宰者坂岡嘉代子さん率いるメンバー七名により、大小十二の太鼓が教祖殿ステージに並び、迫力一杯にホールに響き渡った。式典に参加した約二千人の人は、非行から更生した青年たちの一時間にわたる素晴らしい熱演に感涙し聞き入った。

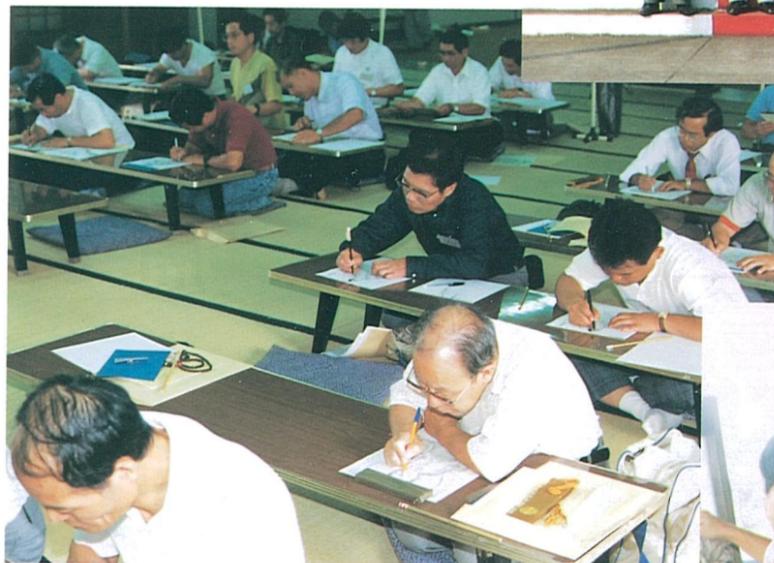
# 壮年部研修会

(9月11日・12日)



壮年部夏期研修会

記念写真



▲写仏にとりくむ



▶清掃(本堂の窓をはずして…)



# 秋季彼岸会

(9月23日)



神通掛をする参加者と役員

# 青年部

## 夏期錬成会

(7月23・24・25日)

▶はんごう炊きで自分たちのごはんをたく

▼訓話を聞く参加者



# 盂蘭盆会

(8月15日)



# インド・釈迦堂落慶十周年及び

## 大仏開眼五周年法要（11月9日）



除幕の瞬間

### 十大弟子像「舍利弗尊者」「目犍連尊者」除幕

インド釈迦堂落慶十周年及び大仏開眼五周年法要と十大弟子「舍利弗尊者・目犍連尊者」立像の除幕式が厳修されました。

加。平成二年に十大弟子像建立が発願され、二体が完成された。式典にはビハール州知事のA・R・

キッドワイ氏、地方長官のA・B・プ  
ラサド氏、ガヤ長官ラジバラ・バルマ  
女史等が臨席。インド滞在のチベット  
僧及びブッダガヤ各国寺院の僧侶が参  
列し、大乘教による読経中に除幕が行  
われた。

式典のため、管長杉崎法涌師は七日  
夜ブッダガヤに着かれた。また二日よ  
り別コースでブッダガヤに到着した宣  
教師と信徒二十一名の一行が式典に参



ビハール州知事をお出迎えする



अर्हत मोग्गलान  
目犍連尊者像



अर्हत श्रीपत  
舍利弗尊者像



釈迦堂本堂にて読経が営まれる



御挨拶される管長貌下

# 秋季大祭

十一月二十八日

開教八十周年秋季大祭営まれる。恒例の灯籠供養が行われ、午後よりインド法要と十大弟子像完成の模様が、ビデオとスライドにて上映される。



先師の灯籠が遺族の手によって 教祖殿へと運ばれる



献菓・献茶の儀(婦人部)

